

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観		
建物名称	THE OUTLETS HIROSHIMA II 期増階数	地上2F		
建設地	広島県広島市佐伯区石内東4丁目5	構造		S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員		15,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間		8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階		実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日		2020年6月1日
敷地面積	199,200 m ²	作成者		三島 直也
建築面積	4,011 m ²	確認日		2020年6月2日
延床面積	7,276 m ²	確認者		丸尾 浩文

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内) 2</p> <p>LR1 エネルギー 1</p> <p>LR2 資源・マテリアル 2</p> <p>LR3 敷地外環境 3</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 4.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.2		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.2</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>適切な断熱性能の外皮により建物の熱負荷抑制に配慮した。/特になし。/特になし。/中央監視設備の導入でモニタリング機能を充実させ設備システムの高率の運用を図った。/省水型機器の採用や躯体と仕上げ材が容易に分別可能な材料を使用し資源保護に配慮した。/LCCO₂排出量削減に配慮した。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 3.5</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>敷地内緑化を積極的に行い温熱環境の向上を図った。/バス停の設置による自動車の代替利用の促進や、十分な駐車スペース確保で交通負荷の抑制を図った。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.1</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>更新間隔の長い内装材料、配管材料を採用し耐用性の向上を図った。/特になし。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される